環境パートナーシップちば だより
―つながれ ひろがれ―

Vol.８４
編　集　環境パートナーシップちば
代　表　桑波田　和子
事務局　千葉市中央区中央港1-11-1
(財)千葉県環境財団環境技術部
業務管理グループ
電　話　043－246-2180
ＦＡＸ　043－246-6969

環境学習指導者養成講座等実施事業を終えて

「だより」81 号～83 号でもご報告しておりましたが、千葉県から受託した平成 23 年度環境学習指導者養成講座等実施事業は、２月８日に最終回の講座を実施し、３月 12 日の事業完了報告書の提出をもって無事に終了しました。

千葉県ではこれまでにも環境学習の指導者養成講座（エコマインド養成講座など）はありましたが、今年度から市民団体に公募して、プロポーザル（提案）方式の事業として再出発したのです。環境パートナーシップちばのメンバーの多くはエコマインド養成講座の修了生であり、エコマインドの講師を務めていた人たちも多かったので、講座の趣旨や実施内容などを理解できており、この事業をスムースに実施することができました。

公募方式１年目の今年度は、業務の開始から講座の初回までの時間が短く、最初に開講した「導入コース」は募集人員 40 名に対し、受講生が 15 名しか集まりませんでした。ただ、その後に開講した「発展コース」（募集定員 30 名）と「環境学習指導技能向上講座（以下、技能向上講座）」（同 20 名）は、みなさんが熱心にお知り合いなどを誘ってくださった結果、それぞれ 26 名、23 名の方たちが受講してくださり，環パの底力を感じたことでした。

導入コース１日目：セヴァン・スズキの DVD に見入る受講生たち

受講生もとても熱心な方ばかりで、「発展コース」の修了割合（落伍しないで修了証を授与された方）は 91％という高率でした。さらにうれしいことには、講座で学んだことを、今後は環パの会員として環境学習活動に活かしていこうと、なんと 13 名の方が当会に入会してくださったのです。

上級編の講座である「技能向上講座」は、４つの独立した内容であったために単発の受講も OK として、受講者が増えました。講座の内容はそれぞれ非常に好評で、１日だけ受講した方からは、来年は是非ほかの講座も受講したいという感想もいただきました。

各講座の最終日に実施した受講生アンケートにおいても、大変満足」～「やや満足」の割合が、導入コース：100％　発展コース：85％　技能向上講座：93％　であり，受講生の満足度は高かったといえます。

発展コース２日目：生まれて初めての干潟体験（胴長靴体験も！）に、みんな感激

今回は、講座を受託するために環パの中で有志を募り、EL-work というメーリングリストを活用しながら、またできるだけ多く打ち合わせ会を持ちながら、業務を進めていきました。お互いにいろいろと掛け持ちの仕事をしながら、という制約の多い中で、発送業務なども含めて、たくさんの方たちの力のおかげで、充実した良い講座を作り上げることができました。

みなさま、本当にありがとうございました！

（講座事務局担当　小倉 久子）

ナチュラルシード見学会報告

正解者はたったの３名とは！
ナチュラルシード見学会～種から学ぼう！肥料もいらない自然農法～

平成 24 年２月 21 日（火）に、成田市三里塚光が丘にある(有)ナチュラルシードネットワークにおいて標題の見学会を行いました。この見学会は、千葉県県民交流・文化課が担当している企業と NPO によるパートナーシップ事業として、(有)ナチュラルシードネットワークと環境パートナーシップちば(以下、環パと略称)が協働する形で企画したものです。

平成 24 年１月から環パが主体で参加者募集を行いました。これまでの環パのイベントでは参加者不足に悩むことが多かったのですが、今回は市民の関心が特に高いことがうかがわれ、結局予定を超えて 30 名(内、スタッフ 10 名)が集まる盛会となりました。

まず、(有)ナチュラルシードネットワークの石井吉彦代表により、氏が始められたナチュラルシードとその無肥料農法とは何かについて、まず種たねの危ない現状についての話から始まりました。

日本の農家は 100%に近く、外国などのメジャーな種苗会社が販売する種を使っています。この種は、野菜の流通業者が最大の利益を上げることを目的に野菜の形状や品質を設計し、しかも二世代目の種は使えないようにしたもので、言わばこの会社の経済利益のために、生産者の農法を始めとし消費者の健康や嗜好までが管理されている現状が語られました。

種を扱う商社で働いていた氏は、このような現状を改善するために在来種を用いた無肥料農法に取り組み始めました。ある時、アトピーに悩む人がこの方法で収穫した野菜を食べたところ、劇的に快方に向かったことがあり、それを機に会社を辞め、この農法や野菜の普及のための全国展開の仕組みを作るために 1999 年５月に(有)ナチュラルシードネットワークを設立しました。

石井講師のお母さん
（イメージキャラクター）
ホームページサイト
http://www.natural-seed.net/

このようなお話の後に、無肥料野菜と有機肥料野菜の味の違いを実感するために、人参とネギについて両者の味見をしてどちらの野菜かを当てるゲームをしました。

その結果、驚くことに正解者は約 30 名の内の３名でした。これは、私たちの味覚がいかに他者に支配されてしまっているかの証明だと思います。

昼食後、圃場に移動し、土壌と野菜の性質を調べることにしました。たまたま、現在は野菜の端境期のため、圃場(ﾎﾞｼｮｳ)についての多くの情報を得られないにしても、土壌については、径１㎝、長さ 1.5mほどの支柱が軽々と全部貫入するほどに柔らかい土であること、そのにおいは昔なつかしい健康な香りがすることが分りました。野菜についてはホウレンソウの摘み残しがあり、それを食してみると、苦みやえぐみがなくほのかな甘みさえ感じられました。

最後にアンケート調査を行いましたが、参加者にはこの企画が非常に好評で，次回は収穫期の圃場での実体験も，との要望も寄せられました。

圃場

ホウレンソウ

（文責：牧内）

平成２３年度エコ体験スクール(千葉市)

千葉市が公募した、千葉市エコ体験スクール（大気・水・土壌の保全コース）に、当会は応募し受託しました。これまでのエコ体験スクールとの大きな違いは、受託団体が参加者を募集しないで放課後子ども教室の参加者を対象にすることです。

これは千葉市環境保全課と教育委員会の生涯学習課が連携し、エコ体験スクールを希望する小学校との打ち合わせなど詳細なところは行政が担当しました。学校、子ども教室、受託団体等の日程調整等は大変だったとお聞きしています。

当会は、大気・水・土壌コースでしたので、「サウンドマップ」というプログラムを以下の日程で開催しました。参加学年は１年生～5 年生でした。

◆磯辺第２小学校
１月 26 日（木）15：00～16：00
参加者：22 名　当会スタッフ：３名
教室側スタッフ：３名　行政：２名

◆長作小学校
２月９日（木）　5：00～16：00
参加者：46 名　当会スタッフ：４名
教室側スタッフ：３名　行政：２名

実施するにあたり、２校それぞれで教頭先生、子ども教室の担当者、当会、環境保全課、生涯学習課と事前打ち合わせを行ないました。

ここで、子ども教室について、子どもたちの様子、当会の活動プログラム内容、役割分担など話し合い決めました。この事前打ち合わせは、実施するには重要でした。

大まかな流れは、教室で耳を澄まして音を聞いてから、外に出て音を聞き、聞いた音を各自が自由に絵に描いて教室に集まり、体験した感想などを発表しました。

子どもたちはとても興味深く体験したようです。アンケートには、「こんなに聞こえるとは思いませんでした」「音を聞いて絵をかくのが楽しかったです」「家でもやってみたい」等新しい発見があったようです。放課後の子どもたちは元気いっぱいです。安全面など教室側のスタッフも気配りしてくださいました。実施時間は 60 分間、参加学年は様々ということで、今後の課題もありますが、生涯学習課と環境保全課が連携したことは大きな一歩だと思いました。

＊「放課後子ども教室」とは千葉市教育委員会が、放課後等に小学校の余裕教室、体育館、校庭等を使用して、安全で安心な子どもの活動拠点（居場所）を作り、地域住民や保護者の方々の参画を得て、小学生を対象に、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行う場のこと。

（文責：桑波田）

２０１１年度　環境学習コーディネーター養成講座

ELCo の会　代表　市野敬介

平成 24 年２月 25 日（土）千葉市中央区富士見にある「プロミス千葉・お客様サービスプラザ」の一室で、今年度の「環境学習コーディネーター育成講座」の３日目を行いました。各地でコーディネート活動の実習を行った成果を報告していただきました。

今年度は、普段から環境活動に取り組まれている方だけでなく、行政から委託を受けて環境学習コーディネーターをされている方や、元・校長先生をされていた方など、5 名の方が受講されました。平成 23 年８月、９月にそれぞれ１日ずつ座学でコーディネーターの役割について学習をし終えています。10 月～翌年２月までの期間で、各地の学校や公民館などのヒアリングを行い、どんな環境学習が必要かを把握して、適切な環境学習のプランを提案するのが、本講座の実習です。

受講者からの報告では、学校の科学クラブの活動に関して、地域内にある自然博物公園での観察を提案された方や、小学校の先生が行いたい活動内容を把握して、自ら活動されている団体の講師の派遣なども含めて総合的なプランを考えた受講生もいました。

最後に、小平市立第二中学校学校支援コーディネーターの布昭子さんを招き、学校と地域をつなぐコーディネーターのあり方について学び、３日間にわたる講座は終了しました。

千葉県内では、学校をはじめ、教育委員会、地域の科学館、環境活動団体などの人が集まって活動をする場がある自治体も多くあります。ここに、学校や公民館などが実施したい活動や目的に即した授業や活動が円滑にできるようにするためのコーディネーターの役割が求められています。

ELCo の会は、2012 年度も活動を継続させ、学校や公民館などでのコーディネートを引き続き行います。コーディネーター同志のネットワークを深めて、活動を充実させていきます。詳しくは、http://d.hatena.ne.jp/elco-chiba/をご覧ください。

エコメッセは今後「協働」にも取り組んでいきます

エコメッセは「環境活動見本市」として、１９９６年に開始されて以来、毎年実施され、現在、来場者が１０,０００人を超える大きなイベントに成長しました。

今年も「エコメッセ ２０１２ ｉｎ ちば」が９月１７日（月・祝）、幕張メッセで行われます。市民、企業、行政、大学などの団体が一堂に会して、環境活動や環境にやさしい商品の紹介、環境学習などを行います。

今年のテーマなど詳細は現在未定ですが、「環境協働創造市(ｲﾁ)」という新たな取り組みを始めます。いわば“２つのエコメッセ”として新しい一歩を踏み出すことになります。

エコメッセの目的は「持続可能な社会の実現」ですが、そのためには各団体が互いに協力・連携して活動を活性化させていくことが重要となっています。そのキーワードが「協働」となります。具体的には、エコメッセに出展・参加する企業と市民団体、企業同士、市民団体同士、行政と市民団体、学校と市民団体など、自由な組み合わせによる団体を結び付け、協働活動を創り出していただくための交流会（マッチングの場）を定期的に開催します（第１回環境協働創造市は６月開催予定）。エコメッセ実行委員会が調整役となって、情報交換する場を通年で提供していこうというものです。エコメッセ当日は、この「協働」に関連する新企画を展開する予定です。エコメッセは今後、「環境活動見本市」を核として、「環境協働創造市」という新たな輪を拡げていきます。

環境パートナーシップちばの団体会員の皆さまには、ぜひ出展や協賛、エコメッセ実行委員、当日スタッフだけでなく、通年活動となる交流会への参加も含めてご協力を賜わりたく、お願い申し上げます。

今年も、多くの方のご来場をお待ちしております！

現在、出展団体や協賛団体を募集しています。募集の締切りは６月３０日です。

（交流会への参加募集は通年で行っております）

開催日時：９月１７日（月・祝）
１０：００～１７：００
場所：幕張メッセ国際会議場他
（千葉市美浜区中瀬２－１）

詳しい案内は、下記のエコメッセのホームページをご覧ください。

http://www.ecomesse.com

エコメッセ2011は12，000人のご来場をいただきました。

「エコメッセ」は、
持続可能な社会の実現をめざして
市民・企業・行政のみんなが
良好なパートナーシップのもとに協働し
開催する千葉県最大の環境活動見本市です。
子どもも大人も
みんなでつくる環境のためのお祭りです。
あなたも私も環境の輪を拡げよう！

お申し込み＆お問い合わせ

エコメッセちば実行委員会事務局
〒260-0024　千葉市中央区中央港1-11-1
財団法人千葉県環境財団　業務管理グループ気付
TEL:080-5374-0019／FAX:043-241-3002
E-mail　:　info@ecomesse.com
ホームページ　:　http://www.ecomesse.com

平成２４年度環境パートナーシップちば総会開催のご案内

平成２３年３月 11 日の東北関東大震災から１年が過ぎました。被災された方や地域の復興、福島原発事故処理など課題は山積みです。このような中、復興への願い、支援などにより希望の光が少しずつですが、見えてきつつあります。また、今年の６月に「リオ+20」が開催されます。

環境活動を保全・再生・活用していくために、市民・企業・行政とのパートナーシップの構築を推進している当団体にとりましても、今後活動をより具体的に展開していく必要があります。会員の皆さまからのご意見等をいただき２４年度の活動を進めていきたいと思います。
ぜひ多くの方のご参加をお願いいたします。また、交流会の場に、団体活動紹介の時間を設けてありますので、ぜひご報告をお願いします。

今年の総会場所ですが、白井市に自然農法農園カムー菜園を耕し、自然食材を活かしたレストラン「オーガニックカムー」様のご厚意で会場をお借りすることになりました。

第１部は、総会を開催し、第２部は、４月エコサロンと交流会を行います。

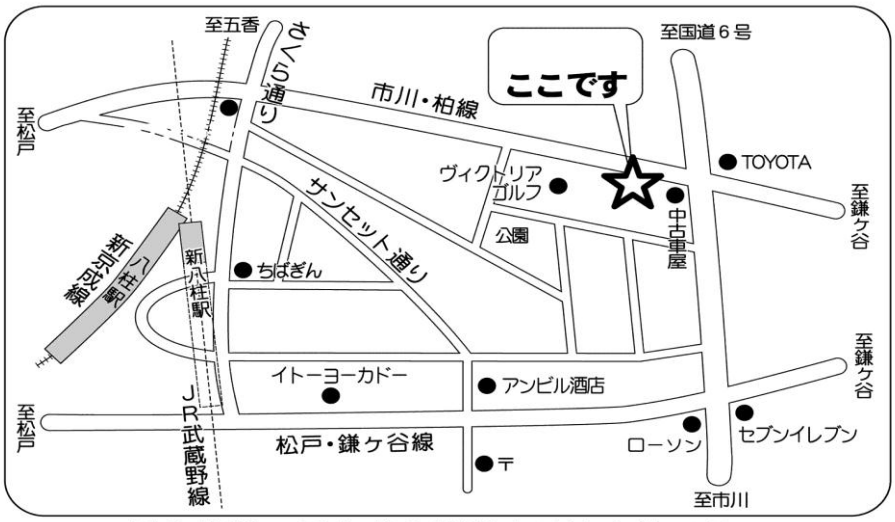
日時：平成２４年４月 22 日(日)
　　15：00～17：30
場所：オーガニックカムー
　　270-2253 千葉県松戸市日暮 1-10-5
　　JR 新八柱駅 or 新京成八柱駅　徒歩５分
　　Tel :047-389-9500
　　Fax :047-394-4072
　　http://camoo.posterous.com/pages/camoo

第１部　総会　　15：00～16：00
☆平成２３年度事業・会計・会計監査報告
☆平成２３年度役員改選・新役員紹介
☆平成２４年度事業計画(案)・予算(案)

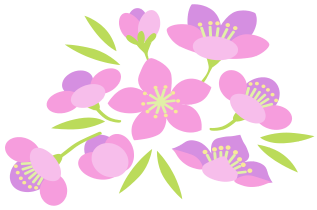
第２部　エコサロン及び交流会
　　16：00～17：30

※総会終了後、軽い食事を取りながら、自然農法農園の活動などについて、店主からお話をお聞きします。

★４月エコサロン★
テーマ「(仮題）自然環境 いこーる 体内環境」
話題提供者：伊藤
参加費：2,000 円（食事代、資料代含む）
エコサロンに参加される方は、４月６日（金）までに、お申し込みください。
※事務局　TEL：043-246-2180
　　e-mail：kuwahatak@hotmail.com



＊JR新八柱駅・新京成八柱駅より徒歩約５分



関東 ESD 学びあいフォーラム報告

ELCo の会　横山清美

平成２４年２月２７日（月）オリンピック青少年センターにおいて、環境省関東地方環境事務所が主催の標記の話し合いの場に参加してきました。様々な立場で活躍している地域のコーディネーターが集まり、「持続可能な社会を創るコーディネーターのあり方」という視点から課題を共有し、解決に向けて話し合いました。概要（詳細は http://www.esd-j.org/ で発表予定）をご報告いたします。

はじめに、事例発表＆パネルディスカッション「持続可能な地域に向けたコーディネートの成果と課題を共有しよう」では、コーディネーターの森 良氏（ESD-J 理事）から「地域に行くと素晴らしい活動をしている人たちがいますが、地域でばらばらに活動をしているので、なかなか力を発揮できません。間に入ってつなぐ人がいることで、一緒に活動をする場がたくさんできることが望ましい。このフォーラムの目的は、こうしたつなぐ人を作ること。」と趣旨説明がありました。横田能洋氏（認定 NPO 法人 NPO センター・コモンズ）からは、「マルチステークホルダープロセスと地域円卓会議の可能性」について、高見滋氏（NPO 法人都留環境フォーラム）からは、「コーディネーターの役割について」、布昭子氏（小平市立中学校学校支援コーディネーター連絡協議会）からは、「寄り添って地域は大きな教室」という発表がありました。

この後「コーディネーションの大切さや課題について話し合おう」をテーマに分科会があり、報告を全体会「持続可能な地域に向けたコーディネートの方向性を確認しよう」としてまとめられました。『行政と市民の関係のあり方』分科会では、「今の行政の仕組みをどう変えていくのかでは、市民が行政にプロジェクト型予算に変えていく提案も必要」とまとめ、参加者が多くニーズの高さを感じた『市民のエンパワーメント』分科会では、「市民の意識と力を向上させることが基本であり、これをしっかりやらないと、世の中を変えていく力にならない」というまとめに納得しました。

『コーディネーターのスキルアップ／ネットワーキング』分科会では、「皆がコーディネートを体験し、共有する場づくりが大事。さらにその場を参加者自らが作っていくことも大事で、それがネットワーク構築につながっていくといい。」というまとめは、これからの ELCｏの会でも必要な活動と考えました。

平成 23 年度環境教育リーダー研修基礎講座に参加して

文部科学省と環境省が主催する、平成 23 年度環境教育リーダー研修基礎講座が、３月４日～6日まで、山梨県北杜市清里の財団法人キープ協会で開催されました。

４日は朝６時過ぎの電車に乗り、あずさ号、小海線と乗り換えて 10 時過ぎに清里へ着きました。会場となるキープ協会には雪が少しありましたが、夕方から雪が降り始め、一晩で 30cm以上積もり 5 日は白銀の世界になりました。その日の夜は急に雨が降り始め 6 日の午前中で雪が一気に解け、午後からは晴天となり富士山や南アルプスが見えるという変化に富んだお天気を体験しました。

講座には、全国から環境教育に関わる方 70 名が集まり、午前９時～午後９時までのタイトなスケジュールでした。参加者の 3/5 は小学校～高校までの教諭で、他には市民団体、企業、行政の方でした。私は、今年環境パートナーシップちばで千葉県環境学習指導者養成講座を受託し、事業を展開してきましたので、国が関わる講座に興味を覚え参加しました。千葉県からは高校教諭、企業、市民団体の４名が参加されていました。

講座の目標は、①環境教育の基礎を理解する。②環境教育プログラムの作り方と指導方法を理解する。③学校や地域における環境教育の現状と課題を理解する。④参加者個人の目標を達成する。目標達成のために大切にしたいことは、①体験から学ぶ。②お互いから学ぶ。③楽しみながら学ぶ。ということです。

講座の後には、プログラムの相互実施を行い、相互評価もしました。プログラムは１時間ほどで読み解き、企画して指導者として他のグループに体験してもらい最後は相互が評価をしました。グループ活動は、既に指導者として活動体験が多いので、実践はスムースに行きましたが、プログラムの企画では合意形成に時間がかかりました。

３日間参加して、環境学習指導者に必要なことについての理解できたこと、資格認定などの課題は、全国共通であることも分かりました。参加する教諭の立場もさまざまで、命令されての参加や有休、参加費など自費で参加する方など学校の事情も複雑なようです。忙しいスケジュールでしたが、食事は地産地消のものが多く、清泉寮で有名なジャージー牛乳はおいしいでした。

今後は、この講座で学んだことを実践していきたいと思います。　（文責：桑波田）

県内の環境保全活動人（団体）紹介　―　９　―
おききしました！　この人・この団体

社団法人　アーバンネイチャーマネジメントサービスレンジャー
星野 七奈氏

私たちUMSは、現在13名のスタッフで習志野市谷津干潟自然観察センター（以下観察センター）の指定管理者として平成19年度から活動しています。観察センターは環境学習の拠点として来館者の観察案内や学校団体等の対応、大学の教職課程や企業のCSR活動の受入れなど幅広く活動しています。他にも「三番瀬環境学習教材（千葉県委託）」の企画・制作をし、「環境学習指導者養成講座（発展コース）」の講師なども務めています。

●「干潟があるまち習志野」
ー地域連携を目指して

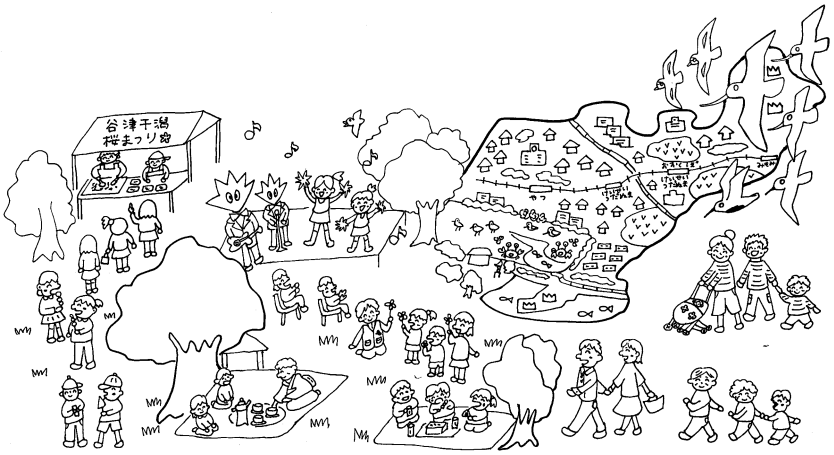
ラムサール条約に登録された谷津干潟は、環境変化によってアオサの繁茂や青潮といった問題を抱えています。私たちは、「わが町を愛し、わが町の人を愛し、わが町の人の集いを愛し、そして、わが町の未来を愛す」をスローガンに、より多くの人が谷津干潟に集まり、保全に参加する人の輪をつくるため、幅広い世代（自然に関心がない層）が気軽に楽しめるもちつきや桜まつりなどのイベントも行っています。このようなイベントを地元のまちづくりグループや自治会、商店街などと協働で運営することにより、地域との交流を深めています。また、将来の谷津干潟を守る人材を育成することを目的とした「谷津干潟ジュニアレンジャー」事業では、子どもたちへの環境教育にとどまらず、干潟を守る実践的な活動の場を提供しています。今後はジュニアレンジャーの活動を通して保護者や地域住民が谷津干潟を見直し、皆が手を携えて一緒に守っていく、人のつながりをつくっていきたいと考えています。

●千葉県内のネットワークづくり

観察センターでは毎年１月にもちつき会を行っています。今年は、「楽田くらぶ」と称して地元の方からメンバーを募り、自分たちでもち米を作ることにしました。場所は鴨川の大山千枚田です。その理由は、谷津干潟以外のフィールドでの活動を通して、本来の自然のつながりや谷津干潟の価値が再認識できるのではないかと考えたからです。さらに谷津干潟の価値を高め、環境の保全に貢献していくには、千葉県内のさまざまなフィールドやそこで活躍する団体とのネットワークや連携が必要だと考えています。

●ラムサール条約登録・観察センター
開設20周年に向けて

谷津干潟は、2013 年にラムサール条約登録20周年、2014年に観察センター開設20周年の節目の年を迎えます。グローバルな視野で国内、国外のラムサール条約登録湿地との交流や人的ネットワークの拡大を目指すとともに、これを機に、将来に渡って谷津干潟が保全される確かな仕組みを作っていこうと動き出しています。



運営委員会報告

２月運営委員会

日時　２月２９日（水）

場所　船橋市民活動センター

【報告】

- 環境学習指導者養成講座・環境学習指導技能向上講座について
- 千葉市エコ体験スクール
- ナチュラルシード見学会
- ELCo の会報告会

【協議】

- だより８４号
- 環境学習指導者養成講座事業報告書
- 企業・NPO によるパートナーシップ事業報告書作成
- エコサロン開催
- 市町村と NPO との連携促進事業「意見交換会」
- 総会の日時
- エコメッセチームづくり
- 環境学習チームづくり

３月運営委員会

日時　３月１６日（金）

場所　船橋市民活動センター

【報告】

- 環境学習指導者養成講座報告書
- 企業・NPO によるパートナーシップ事業報告書
- 環境学習コーディネーター育成事業報告会

【協議】

- だより８４号
- 環境学習プロジェクトチーム
- エコメッセプロジェクトチーム
- ２４年度の事業
- 総会準備
- 総会案内
- メーリングリスト確認
- 環パちばの環境学習センター

お知らせ

★第９回里山シンポジウム in 市原★

テーマ：里山の魅・力

日時：５月 27 日(日)10：00～16：00

会場：東海大学付属望洋高等学校
松前記念講堂

参加費：500 円

■基調講演：北川　フラム氏
アートディレクター
「里山の輝き」里山の魅力を再発見し可能性を探る。

■パネルディスカッション
主催：里山シンポジウム実行委員会、
千葉県　NPO 法人ちば里山センター
共催：市原市

★平成 24 年度エコフェアいちはら★

テーマ：拡げよう　あなたも私も　できる
エコ活動

日時：６月 16 日０：00～15：00

会場：市原市民会館

主催：エコフェアいちはら実行委員会

エコフェアいちはら実行委員会では、環境の月である毎年６月に、市民、企業、市の協働による環境イベントとして、「エコフェアいちはら」を実施しています。

※当会も出展しますので、ご来場ください

再生紙使用

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政及び専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。

入会申込先：千葉県環境財団　環境技術部
業務管理グループ気付

TEL：043-246-2180　ＦＡＸ　043－246-6969

会費納入先：環境パートナーシップちば

郵便振替口座　00160-9-401872

＜環境パートナーシップちば＞

入会申込書

会の趣旨に賛同し（個人、団体、賛助会員として）
会費を添えて（郵便振替）入会します

氏 名		入会年月日	
住 所	〒		
ＴＥＬ		ＦＡＸ	
年会費	個人 1,000 円　団体 2,000 円　賛助会員 5,000 円		